

FOLIAR APPLICATION

**F**

葉面・土壌散布資材

**S**

SOIL APPLICATION

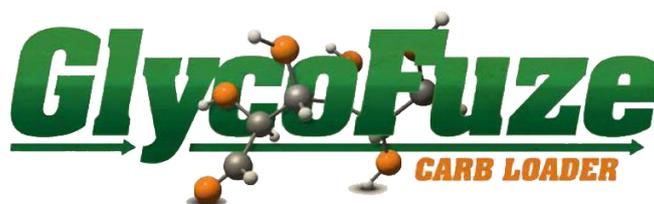


# グライコ フェーズ

- ◆ グライコフェーズは糖鎖生物学(グライコムクス)に基づいて開発された次世代の資材です。
- ◆ 細胞構築やエネルギー源となる単糖類・多糖類がふんだんに含まれています。
- ◆ 複合糖鎖を生成する多数の炭水化物(糖質)の供給を基に、細胞レベルで植物活性を増進します。
- ◆ 植物細胞内における生理反応に直接作用するので、必要な個所に必要な栄養素を運びます。

## グライコフェーズの効果

- 光合成反応・呼吸反応の活性改善
- 糖タンパク質の円滑な輸送をサポート
- 茎葉部・根組織・芝全身の活性改善
- 植物体内の糖質・タンパク質の有効利用
- 細胞間の栄養素の移動を促進
- 春期・秋期における発根促進



- 芝活性を上げるためには、プロテシンと混合使用で大きな相乗効果があります。
- カーボンパワープロダクトを混合散布することにより、更に効果的な施肥が可能です。
- 暖地型・寒地型芝にご使用いただけます。特に暖地型芝の春の立ち上げには有効です。
- 猛暑・極寒時のストレス軽減および活性改善には最適の資材です。

# グライコ フェーズ

## 成分表

窒素全体	2.00%
内 尿素	2.00%
リン酸 (P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> )	1.00%
カリ(K <sub>2</sub> O)	2.00%
ボロン (B)	0.50%

規格 .....10 ㍓ × 1  
比重 .....1.137kg / ㍓

## グライコフェーズに含まれる成分

糖類	: 糖鎖形成のための多数の単糖・多糖類
アミノ酸	: 糖タンパク質等のためのタンパク質合成を促進
フミン酸	: 植物活性の高い有機酸
フルボ酸	: 栄養素の転流
ボロン	: 転流のかなめ、又、糖の結合に必須

<u>プロ使用ガイドライン</u>	葉面・土壌散布資材としてご利用いただけます。
推奨施用量	: 1.0~2.0ml / m <sup>2</sup> (葉面・土壌散布)
散布間隔	: 7~14 日(葉面・土壌散布) 注: 効果の持続期間は土壌環境や降雨などの影響によって異なります
推奨散布水量	: 葉面散布時 20~40ml / m <sup>2</sup> (散布後 2, 3 時間は散水を控えてください) 土壌散布時 80ml~200ml 程度 / m <sup>2</sup> (施肥後、後散水してください)
タンクミックス順序	: ⑥

### 使用上の注意:

- フロラティン社資材との混合手順は別紙「タンクミックスの手順」をご参照ください。
- 他資材との混合使用は、必ず事前に混和性、効果をテストで確認してから行ってください。
- 容器を十分に振ってからご使用ください。
- タンクミックスする際は良く攪拌し、散布時も攪拌を続けてください。
- 希釈した溶液はその日のうちに使い切ってください。
- 子供の手の届かない場所に保管してください。
- 一度開封した製品を保管する際は密閉し、高温多湿を避け、できるだけ早く使い切ってください。
- 5℃以下での保管は避けてください。

Ver. 2018.01.05



Rooted in Science

フロラティン・ジャパン株式会社

〒104-0042 東京都中央区入船 2-10-7-4F

TEL: 03-3523-4882 FAX: 03-3523-4883

取扱代理店